

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：平成 31 年 3 月 18 日

事業所名：浦添市障害児通所支援事業所たんぽぽ園

	チェック項目	はい	いい え	工夫している点
				課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	●		・法令を示されているスペースを確保しています
	② 職員の配置数は適切である	●		・法令が必要とされている配置数を確保しています
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	●		・段差は少なく、バリアフリー化しています ・掲示板や1日の流れをボードで視覚的に示しています また、特性に応じては設定活動に応じて工夫しています
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	●		・トイレの数が少なくトイレの時間が込んでしまう為大人用(補助便座活用)のトイレを活用しています ・日当たりも良く、風とおしも良い環境になっています
業務 改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	●		・毎朝、職員ミーティングや伝言板で確認を行い、また週2回の会議を開き振り返りや情報共有を行っています
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	●		・保護者向けの評価表を今後も活用し、更なる改善に繋げていきます
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		●	・評価表については、今後公開していきます

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	●		・毎年事業実績報告を理事会、評議員会で報告しています
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	●		・内部研修や外部研修、県外研修など積極的に参加してもらい、サービスの質や意識向上につなげています
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	●		・お子さんの願いや保護者の想いを聴き取りながら個別支援計画を作成しています。職員間でも支援会議で共有しています
	⑪	子どもの適切行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	●		・保護者の希望や本人の願い等アセスメント内容等を踏まえて個別支援計画を作成し、保護者に説明、同意を得ています
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	●		・ガイドラインを参考にしながら、お子さんに合わせた内容で作成しています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	●		・個別支援計画に基づき支援を行っています。内容に見直しがあった場合は、保護者に確認しながら支援しています
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	●		・各クラス単位で立案をし、朝のミーティングで全体で情報共有と調整を図っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している	●		・行事については、年間を通して決め、イベントについては会議や日々の中で職員間の情報共有を行っています
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	●		・お子さんの特性に合わせ、個別支援と集団活動支援を取り入れています
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる	●		・朝の申し送りの中で毎日、情報共有を行っています
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われて支援の内容や役割分担について確認している	●		・お子さんの日々の様子は日誌に記録した、申し送り等は、報告や記録に残しています。必要に応じては、会議を開催して確認を行っています
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げている	●		・日々の記録は、個別台帳に記録しています

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	●		・登園状況に応じてモニタリングの時期がずれたりするが、半年に1度のモニタリングは実施しています
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	●		・児童発達支援管理責任者とお子さんが在籍するクラスの担任が参加しています
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	●		・管理者や児童発達支援管理責任者が日頃より連携を図っています
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	●		・親子通園の為、医療ケア児や重度心身児のお子さんは、保護者と確認しながら関係機関との連携を図っています。今後も関係機関との連携を図っていきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	●		・親子通園の為、医療ケア児や重度心身児のお子さんは、保護者と確認しながら関係機関との連携を図っています。今後も関係機関との連携を図っていきます
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	●		・月に1度保護者と確認をとりながら公立保育所との交流保育(受け入れ先の人数によって)を実施しています。保護者の要望によっては、幼稚園への交流を行っています
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	●		・特別支援学校への見学や体験等の調整や同行訪問を行っています
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	●		・発達障害者支援センターと月に1度の情報共有を行い、助言や研修会の講師を担ってもらい支援について、アドバイスを頂いています

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	●		・月に1度保護者と確認をとりながら公立保育所との交流保育（受け入れ先の人数によって）を実施しています。保護者の要望によっては、幼稚園への交流を行っています
	㉑	（自立支援）協議会子ども部かいや地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加			・管理者や職員が参加しています
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	●		・朝の申し送りや職員会議等で情報共有を行っています
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	●		・年に2回以上は、保護者勉強会を実施しています。研修内容については、毎年検討して実施しています
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	●		・管理者が契約時に契約内容や重要事項等の説明を行っています
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	●		・児童発達支援管理責任者が保護者に対して、説明を行い同意を得ています
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	●		・個別面談やその都度保護者の相談に応じて、面談を行います。また、来所できない時は電話相談で対応しています。 ・助言が難しい時は、職員間で相談し後日保護者支援を行う時もあります
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	●		・母親の会や親父の会の開催の時は、職員も一緒に活動に参加したり、お子さんのお預かり等の協力をしています

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	●	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談やその都度保護者の相談に応じて、面談を行っています。また、来所できない時は電話相談で対応しています。 ・すぐに相談に対応できない時は、保育終了後など時間を配慮し対応しています
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	●	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月園だよりや週間プログラム等で活動の情報発信を行っています。日々の活動の変更等については、メール等で発信しています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	●	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付の保管庫で管理しています
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	●	<ul style="list-style-type: none"> ・便りやメール・電話等で周知しています ・1日の流れのボードを提示し、視覚的に見通しが持てるようにしています
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	●	<ul style="list-style-type: none"> ・行事には、地域の方を招待したり、民生委員との交流も行っています
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	●	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを作成し、避難訓練については年2回実施しています。経験していないお子さんや保護者については、掲示板等で周知していきます
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	●	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設の為、建物内の児童センターや自治会と合同で避難訓練を実施しています ・避難訓練前には、週報やたより等で周知しており、音が苦手なお子さんに対しては配慮して行っています
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	●	<ul style="list-style-type: none"> ・新規面談時に確認しています
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に確認を行いながら対応している為、今後は検討していきます
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	●	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容によっては、事前に職員間で話し合いを行っています ・ヒヤリハット事例集はないがヒヤリハットがおこった場合は、職員間でミーティングを行い対策等について記録をとり確認しています

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	●	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の職員が虐待防止に関する研修に参加が出来ていない為 今後は、参加をさせ共通認識を図りたいです
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	●	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同伴の親子通園の為、その都度保護者に確認をとりながら支援しています

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。